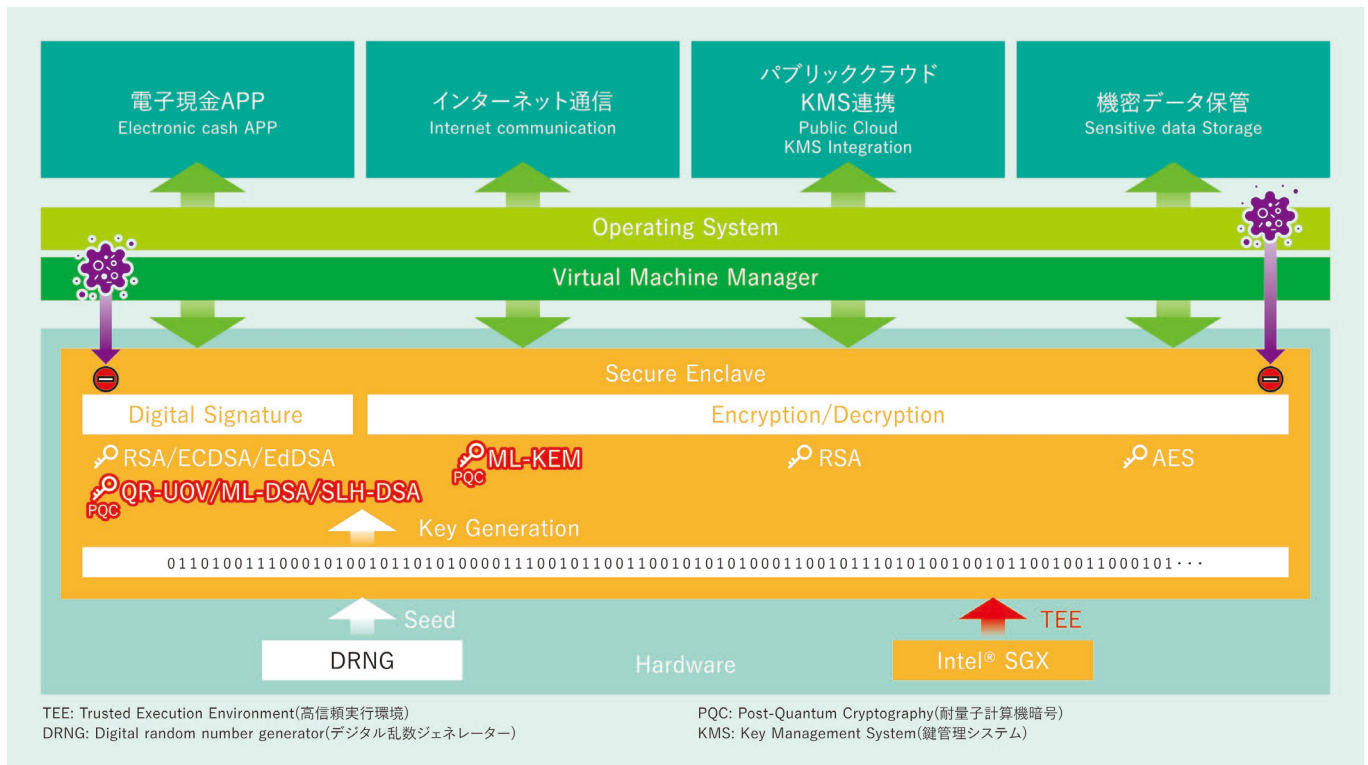


暗号鍵の機密性と完全性を確保し、データを厳格に保護するセキュリティ技術を実現します 強固な鍵管理によるデータセキュリティ技術

背景 – 技術課題

クラウドサービスプロバイダの暗号鍵管理に人的ミスや内部不正などのインシデントが発生すると、データセキュリティが破られてしまいます。



研究目標 – 成果

クラウドの暗号鍵管理に関するインシデントを抑制してデータセキュリティを確保し、コストや利便性に優れたクラウドサービスを安全に利用します。

技術ポイント

01 要素技術

- TEE (Trusted Execution Environment) のソフトウェア開発ノウハウ
- NTTデータのパブリッククラウド利用実績から得た知見

02 市中技術差異点

- 暗号鍵の生成、運用のライフサイクルをTEE内で一元管理する強固なセキュリティモデル
- TEEでの暗号化・復号・デジタル署名処理をステートレスなマイクロサービスとして構築、負荷に応じたスケールアウトが可能

利用シーン 金融／宇宙・防衛／公共サービス・自治体

R&Dフェーズ

ビジネス展開

【出展企業】
株式会社NTTデータグループ

【社外連携先】
NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）

【問い合わせ先】
技術革新統括本部 グローバルアーキテクト推進部

【関連Link】
https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101668.html